



教育目標：自立 敬愛 精励

用賀中だよい

ようがの学び舎 舎訓 責任 信頼 誇り
～生徒が主人公である学校、地域と共に歩む学校～

学校だより 7月号

令和6年7月吉日

ようがの学び舎

世田谷区立用賀中学校

校長 毛利 慎治

『いじめ』に強い学校づくり

ようがの学び舎 世田谷区立用賀中学校 校長 毛利 慎治

今回の学校だよりは7月2日（火）の全校朝礼の校長講話の内容となります。

今日の朝礼のお話は、私自身のエピソードを少しお話しさせてください。数年前、私は中学校の同窓会で幹事を務めました。久しぶりに何十年ぶりに中学校の友達に会えるということで、すごくワクワクしたのを覚えています。皆さんに連絡をしたり、LINEを送ったりして、当日が楽しみでしょうがなかったのです。

その時ちょうど、私は道徳の教材の研究をしていました。その教材の中に、山口県の中学校の先生体験エピソードとして次のような文章がありました。この話も同窓会の話なので私の話と混ざらないでほしいのですが、

以下の体験エピソードは山口県の先生の話です。非常に考えさせられる内容でした。

山口県の中学校の先生（加藤先生 仮称） 体験エピソード

6年前、私たちは中学校の時の同窓会をしました。3年7組です。30年ぶりの同窓会です。各クラスから二人ずつ幹事が出て同窓会をしました。私は幹事でした。当時の卒業アルバムは卒業生の住所も皆載っていましたから、同級生の住所を探して、同窓会の案内を出したのです。すると、一通の手紙が戻ってきたのです。

（加藤先生に戻ってきた手紙の内容）

加藤さん、お久しぶりです。年月は本当に早いもので、30年ぶりですね。お元気ですか。同窓会の案内が届きました。実家の母から、加藤さんという方から同窓会の案内状を送りたいからと住所を聞かれたので教えたよ、と聞いており、同窓会のことは知っていました。

幹事ご苦労様です。皆さんの住所を調べたりお世話をしたりするのはかなり大変でしょうね。さて、同窓会ですが、同封のハガキのとおり欠席いたします。加藤さんはご存知でないかもしれません、私は中学校のときずっといじめられていきました。参加しても何も話ができません。同窓会の案内がきたことで忘れていたことをまた思い出していました。私の記憶からは消したい中学校生活です。同窓会、皆さんは楽しみにしているかも知れませんが・・・ごめんなさい。でも、そのことを恨んではいません。

同封されていた名簿から、中学校の先生をしていると知りびっくりしました。どこでも走り回っていた加藤さんが先生とは、たしか掃除中に天井から落ちていましたよね。あれはみんな驚き、笑いました。

一つお願いがあります。私のような思いをする子供たちをつくらないようお願いします。同窓会を楽しみにできて、思い出を一緒に語ることのできる子供たちを育ててください。

30年ぶりでこんなお願ひをしてすみません。

長くなりましたが、もう私には同窓会の案内を送らないでくださいね。あのころの記憶はやっぱり消したいので。それでは幹事がんばってくださいね。

お会いすることはないと思いますが、お互い良い人生を送ることができるよう心から願っています。

私たちは同窓会を楽しみにしていました。同級生の皆が楽しみにしていると思って疑わなかった。まさか、同窓会に対してこういう思いを抱いている友達がいるってことをこれっぽっちも思ってみなかつたのです。私はこの手紙を今までに100回以上読みました。この友達は、「中学校の時のことは消したい。」と書きながら思い出を書いています。本当は同窓会に来たかったのかな、どうなのかなと思いましたが、連絡はしていません。私はこの友達がいじめられていたことを全く知らなかった。気付きませんでした。本当に申し訳ないと思いました。

私はこのエピソードの内容を見て、自分が浮かれていることに気がつきました。その時の自分の同窓会で、実はそんな思いで来れなかった人もいたのではないかと、もしくは自分の言葉でそのようなことだったらと…。自分は楽しい時間を期待しているが、中には嫌な思いを、30年以上も胸の中に秘めている人もいるということを理解せずに、はしゃいでいる自分をもう一度、見つめ直しました。

さて、私がみなさんに何を伝えたいかわかりますか。

用賀中学校の生活指導テーマである「人の心の痛みがわかる人間になろう」を実践するために、皆さんにどうしても知ってほしいことなのです。まず、いじめは犯罪です。いじめ防止対策推進法という法律は、すべての子どもが、安心して学校生活を送るために作られました。いじめはどんな理由があっても許されない行為であり、私たち全員がその意識を持つことが求められています。

いじめとは、身体的な暴力だけでなく、言葉や態度で相手を傷つけることも含まれます。そして、いじめには「いじり」も含まれます。いじりとは、一見冗談や軽いふざけに見えるかもしれません、相手が不快に感じたり傷ついたりするなら、それは立派ないじめです。つらい思いをしている人がいることに気づいているかどうかなのです。

いじめられている人は、次のような苦しみを抱えていることがあります。

・周りの雰囲気が悪くなるので「ヤメテ」と言えない。

・「ヤメテ」と言うと、「何真面目になっているの」と言われる。

このような状況で、勇気を出して「ヤメテ」と言うことはとても大切です。そして、「ヤメテ」と言わされたら必ず止めるなどをしなければならないのです。

相手の本当の気持ちは見えないものです。だからこそ言葉を大切にし、お互いを尊重しなければならないのです。いま皆さんの学校生活よくしていこうと、先生たちも生活アンケートなども実施していますね。

生徒会の皆さんともお話をさせてもらいましたが、私たち一人ひとりがお互いを大切にする意識と行動こそが、いじめにつよい学校になります。

もし、自分が嫌な思いをしている、または誰かがいじめられているのを見かけたら、すぐに信頼できる大人に相談しましょう。親、先生、コーチ、塾の先生等、相談できる人はたくさんいます。

そして、次のことを心がけましょう。

嫌な思いをしている人を見て見ぬふりをしないこと。

いじめを受けたら、すぐに信頼できる大人に相談すること。

互いを尊重し、思いやりのある言葉を使うこと。

皆さんが互いを思いやり、尊重し合することで、より良い学校生活を送ることができます。

今日からでも、少しずつ実践ていきましょう。

これからも皆さんと一緒に、安心で楽しい学校生活を築いていきましょう。

「たった一言が人の心を傷つける たった一言が人の心を温める」

いじめを克服するにはいじめに強い学校をつくること。いじめに強い用賀中づくりに取り組んでいきましょう。



河口湖移動教室（1年生）を行いました。

6月5, 6, 7日（水、木、金）、河口湖移動教室（1年生）を行いました。

生徒の言葉を紹介いたします。（事前学習での、学びに向かう姿勢です。）

中学校初めてのお泊まり行事。そして、班行動もあります。そんな中で、たくさんの人がいる中、協力してくれる方や、先生もいます。自分勝手な行動をしたら、たくさんの人に迷惑をかけてしまうことになります。そこで私は河口湖で特に二つのことを頑張りたいと思います。

一つ目は、5分前行動です。5分前行動を心がけないと、他の人たちに迷惑をかけてしまいます。なので、万が一のために5分前行動は欠かせません。

二つ目は、私たちに協力してくださった人たちへの感謝です。この行事は、私たちだけでは成り立ちません。なので、協力してくださっているみなさんに感謝の気持ちを忘れないように河口湖移動教室を楽しく気持ちよく過ごせたらいいなと思います。

僕はこの「河口湖移動教室」で行いたいこと学びたいことが三つあります。一つ目は自分・そしてみんなが、楽しめるような行動をすることです。具体的にどのようなことを行うのかというと、レク係としてみんなをより一層楽しませることです。そして僕も存分に楽しみたいです。二つ目は、自然の雄大さを肌で体感することです。この移動教室では、河口湖・富士山などたくさんの自然を肌で感じますが、その際は自然の凄さをしっかり学び・体感したいです。最後は、みんなの絆を深めることです。まだあまり友情の深くない新しい友達とこの機会で仲を深めたいです。また、今までの友達とも、もっと仲を深めたいです!!

（事後学習で、自分や自分たちを振り返りました。）

副校長先生が姿勢をコップに例え、姿勢がいいと内容が多く入ってくるけど、姿勢が悪いとコップが斜めになるように入れられた内容も入ってこなくなるとおっしゃっていたので、何事にもそれにあった姿勢で取り組みたいと思いました。

これからも仲間を助け合い、自立、敬愛、精励をたくさん持てるように頑張る。河口湖移動教室で学んだことを生かし、これからも生活して行きたいと思った

いじりを相手がどう受け取るかは自分じゃないからわからないので、自分はこれぐらいなら大丈夫だから相手にもしていいよなという考えはよくないと思った。これからどんな人でも、いじりを止めるように努力したい。

移動教室では、河口湖の自然や特色はもちろん、友達と協力することや、人間としてのモラルも学んだことを、先生のお話を聞いて改めて実感しました。お世話になった人に感謝の気持ちを伝えたり（道具をきちんと使う、挨拶をするなど）、友達と協力したり（嫌がることをしない、もししている人がいたら注意するなど）することは、日常生活でも役立つと思うので、積極的にしていきたいです。

移動教室で自立、敬愛、精励は大切だと思った。特に敬愛は、大人数で生活する上ですごく大切だと思ったことが多かった。係の仕事で責任感、友達と生活する中の思いやり、これができれば大人数でもみんな楽しく生活できると思う。今回の相手が嫌がることをしたかの質問は、自分はしていないと思っているが、相手がどう思っているかわからないのが不安だなと思った。

大きなイベントの後の振り返りがとても大切だと思いました。
そしてだれかが困っていたら、傍観者になるのではなく自分なりに先生に言うなどしたいと思いました

学校公開を行いました。



6月 14, 15, 17 日（金、土、月）に、学校公開を行いました。

保護者・地域の皆様の感想を紹介いたします。

学校につくなり、一年生らしき体育の女子生徒が下駄箱で「こんにちは～！」と挨拶してくれました。嬉しかったです。今日は1時間だけ見させていただきました。娘のクラスは数学の授業でした。コースごとに、授業の雰囲気や内容が違うんですね。その内容の違いを先生が個別でわかりやすく教えてくださりありがとうございました。他クラスの英語の授業は、みんな積極的、賑やかで楽しそうに授業をしていて、こちらはほっこりしました。

今回の学校公開は久しぶりに制限のない公開で、多くの教室に保護者が数名いるのを見かけました。校内の活気を感じました。廊下で会う生徒達が挨拶をしてくれて嬉しいです。ありがとうございました。自由参観にしていただきありがとうございます。仕事の都合で行けない時もあったので助かりました。

階段に車椅子用昇降機が取り付けられていることに気がつきました。子どもたちが平等に教育を受けられるように、当たり前の日常生活が送れるように迅速に対応くださっていることが感じられました。維持管理、環境整備が大変かもしれません、日々ご尽力いただきありがとうございます。

学校公開もようやく時間の縛りがなく参観に行けて嬉しく思っております。中学生、親が来ることに照れからの反発もありますが、行くとちょっと嬉しそう、授業を受けて成長した子どもをみるとやっぱり親は嬉しくて思春期真っ只中の喧嘩も救われます！公開中は、授業環境が日常と異なることもあると存じますが、定期的な機会を作ってくださってありがとうございます。

色々と多感な時期の生徒達なので彼らの捉え方は様々だと思いますが、当たり前だと思っていたものは大変有り難いものであることを感じる良いきっかけになったと思いました。

また自分と他者の違いは優位的な差を得るものでないと理解されることにも繋がったのではないかと感じました。



道徳授業地区公開講座を行いました。

6月15日(土)に、道徳授業地区公開講座を行いました。

生徒、保護者の感想を紹介いたします。多くの方にご参観いただきまして、誠にありがとうございました。

学校ライブ、でした！

大野さんが1000回以上もライブを続けていると聞いて、とてもすごいと思いました。

大野靖之さんに会って、夢に向かってあきらめない姿を見習いたいです。

僕は夢があつたけれど叶えられる確率がとても低いので諦めていました。しかし、ライブを聴いて諦めなければできるかもしれないと思い、夢に向かって努力しようと思いました。

コンサートを拝見しました。

ご自身のエピソードを交えたトークや素敵な音楽は楽しく、最後は感涙いたしました。ありがとうございました。子供達も、盛り上げてくれる2・3年生が頑張っていてかわいいなと思いました。

道徳のライブを拝見しました。隣の方がアンコール前の曲を聞いて泣いておられましたし、素敵なライブだったかと思います。ありがとうございました。先生方が1時間ずっと立ちっぱなしでしたので、キツくないのか、その点だけが心配でした。次回の開催があれば、先生方の椅子もぜひ準備してください。

土曜日は素敵な道徳ライブを保護者にも共有させて頂きありがとうございました。

従来の道徳授業のイメージとは全く異なり楽しめました。

講師が等身大のご自分を歌にして語ってくれることにより、生徒には親しみやすく、すっと感情が入ってきて自分たちに重ね、共感しやすかったと思います。（事前に歌詞の内容は、生徒は予習していたとのことで）また次回も是非新しい試みで保護者にも共有していただけたら嬉しいです。

私はPTA役員として標準服リサイクルの準備のため、ライブはところどころ抜けておりましたが、生徒たちは終始ノッている様子でそれを見られただけでも良かったです。

子どもに今日の講座について聞いてみましたが、「良かったけど、できれば知っている曲も1曲くらいは歌ってほしかったな」と贅沢なことを言っておりましたので、その点だけ、次回も大野さんを呼ばれる際にご参考にしていただけたらと思い、ご報告させていただきます。

道徳の学校ライブに参加しました。自己肯定感を高めるコメント内容であつたり、子供たちのストレートな楽しみ方、楽しい雰囲気であつたりと、保護者としても良い気持ちになれました。温かく見守ってくださる先生に感謝です。

全校朝礼を行いました。

6月の全校朝礼では、保健委員による熱中症対策の啓発を行いました。

ドラマ仕立てにして、委員が俳優さながらに健康管理の大切さを伝えました。



7月の全校朝礼では、6月に行った「ふれあい月間」の振り返りを通して、いじめといじりについて伝えました。

また、長い夏休みにも生徒の皆さんと学校がつながり続ける手段の一つとして、貸与端末のTeamsというアプリに「team用賀中学校」というチームを作成したことを知らせました。これにより全教員が全生徒に情報提供が行え、アンケートなどのリンクを送れば情報収集も行えます。（下に回答の一例を紹介します）

座右の銘や、好きな言葉：死ぬ気で努力

好きな映画、ドラマ、番組など：MIU404

特技、ちょっと自慢なことなど：足が速いこと

夏休みに頑張りたい（っている）こと：坂ダッシュ、走り込み、体幹トレーニング

生徒のみなさんは毎日の内容確認を、ご家庭の皆様はこれについてご承知おきを、よろしくお願ひいたします。

<お知らせ>7/3~5は、3年生が修学旅行として、京都、福井、石川に行っております。

詳細はホームページに順次掲載してまいりますので、ご覧いただければ幸いです。→



※掲載している記事の内容は、行事アンケート等でいただいたもののため、匿名としています。

みなさまのお声を、今後の参考にさせていただきます。左の二次元コードへご協力ください。

